

令和5年 第123回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 9月20日(水) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	薬物から住民を守れ(薬物依存にならないための教育を)	町長・教育長
2	藤本一昭	予防接種助成事業に带状疱疹ワクチンの導入を	町長
		審議会委員、協議会委員などの報償費の適正化を	町長
		酷暑の中での児童生徒の学校生活の設備の充実を	教育長
3	橋尾哲夫	多可町合併20周年記念誌(多可の里風土記)発行について	町長
		観光資源の開発について	町長
		歌人(細田直俊、橋本栄治)2名の足跡を町民に	町長
4	門脇教蔵	少子化・人口減少対策は	町長
		中学校部活動の地域連携・地域移行は	教育長
5	廣畑幸子	住民の安全そして安心の確保を	町長
6	内橋志郎	集落区長へ支援を	町長
		中学校の校則は	教育長
7	門脇保文	「読み聞かせ」は「心の脳」を育てる 3世代を結び認知症対策にもなる	教育長・町長
		未来の科学者 頭脳を競う 生きた教育レベルの向上	教育長
		地域資源を活かした「回る経済」バイオマス発電所構想SDGs	町長

(2日目) 9月21日(木) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	清水俊博	「ライドシェア」の導入を!	町長
		「神楽、歌舞伎」等地域の宝を後世に!	町長・教育長
		「アグリ農家子弟」に支援を!	町長
9	市位裕文	地域医療を守れ	町長
10	藤原清勝	税・保険料の納付の説明は分かりやすく	町長
11	足立吉継	災害対策は万全か	町長
12	吉田政義	クーリングシェルターの導入は	町長
13	日原茂樹	コークゼミの取り組みを上げよ	町長
		インクルーシブ教育を推進せよ	教育長

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 大山 由郎

受 領 日	番号
令和 5年 8月25日	1
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 薬物から住民を守れ（薬物依存にならないための教育を）	町長 教育長
<p>近年、世界に流布する薬物及び薬物市場の範囲が、かつてないほど拡大・多様化している。また、国際社会全体として「薬物問題への対応をさらに強化する必要がある」と国連の関係機関が指摘している。</p> <p>過去に海外では麻薬を巡る戦争もあり、このことから薬物が麻薬国家にとっていかに魅力的な道具か、という事が分かる。</p> <p>我が国では、過去においても麻薬及び向精神薬取締法で取り締まりを強化してきたが、現在も地下にもぐった業者が、若者をはじめ多くの人々を餌食にして、大儲けをしている。</p> <p>最近、若年層による市販薬の過剰摂取の拡大が懸念され、また大麻が絡んだ事件で青少年が検挙されるケースが全国で増えている。</p> <p>青少年による薬物乱用を防止するためには、小学生から中学生までの早い段階から薬物依存の怖さを具体的な例を挙げ、心と身体を薬物から守る術を教える事が重要だ。そして、大人も率先して教育を受けて子どもたちに訓える事も必要である。</p> <p>多可町内の学校における薬物乱用防止教育及び啓発の充実について徹底できているか。</p> <p>併せて、子どもたちへの教育の前に教師への教育はどうか。多くの教師は忙しく勉強する時間は取りにくいと思うが、命に関わる事なのでしっかり勉強するべきだ。</p> <p>親への教育はどうか。子どもと関わる心の時間が一番多いのが親である。</p> <p>また、大人になった兄弟姉妹、祖父母への薬物教育は特に難しいものがあり、それらの人々に対する教育も必要だ。</p> <p>麻薬をめぐる事件は表に出る事が少ないので、そこに怖さがある。多可町として薬物からいかに住民を守るか、これこそが最重要課題であり、関係機関とさらに連携を強める事が必要だ。</p>	

そして、住民への周知の徹底も含めて「薬物依存にならないための教育」に取り組むべきだ。

2.

3.

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤本 一昭

受 領 日	番号
令和 5年 8月28日	2
午前・午後10時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 予防接種助成事業に带状疱疹ワクチンの導入を	町長
<p>带状疱疹は、50代以上の高齢者に発症が増加します。</p> <p>带状疱疹は、水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化によって発症します。つまり、子供の頃に水疱瘡になり、症状が抑え込まれて生活してその後、壮年期から带状疱疹が発症しています。この予防には、ワクチンの接種が有効であります。</p> <p>現在、全国の約250程度の自治体で助成制度が実施されています。ワクチン接種1回で免疫効果が、生涯に亘って有効であることです。</p> <p>この実施にあたっては、具体的に不活化ワクチン2回で4万円の2分の1の2万円助成、生ワクチンでは2万円の2分の1の1万円程度の助成であります。</p> <p>带状疱疹は、発症すると熱が4・5日で治まり、その後、腰回りに赤い発疹が現れて痛みを伴います。多くに患者さんは、その時に皮膚科で処置してもらうこととなります。この時点では、痛みを伴い約3ヶ月程度治療が必要です。</p> <p>実は、高齢者が衰弱してから発症すると致命傷になることが多く、心配されています。</p> <p>多可町での患者推計では、年間216名発症であり、带状疱疹神経痛の患者は49名と推計されます。</p> <p>是非とも多可町に希望する高齢者に対しての带状疱疹ワクチン接種事業の導入を求めます。</p>	

2. 審議会委員、協議会委員などの報償費の適正化を	町長
<p>各種審議会委員、各協議会委員、区長、衛生委員、監査人などの委嘱者に対しての報酬、報償費についての標準的な規定及び条例はあるのですか。</p> <p>各審議会・協議会においては、各課の裁量で諮問審議会及び協議会を設置しており、会の運営をしています。統一した規定のもとに金額、交通費、必要経費の支給はなされていますか。</p> <p>受任者からは、金額の値上げの要求はできないので、金額については、統一した制度としていくべきではありませんか。</p> <p>特に金額については、適正な金額にすることについてどのような施策及び調査を実施していますか。</p>	
3. 酷暑の中での児童生徒の学校生活の設備の充実を	教育長
<p>近年、夏の猛暑が続いています。学校の普通教室には、エアコンが整備されています。しかしながら体育授業や屋外での体験活動についての空調対策は、皆無の状態です。以下、今後の夏の暑さ対策についておたずねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 熱中症に対しての具体的対策はしていますか。 2. 熱中症警戒アラートに対しての対応はどうか。 3. プールの水の高温化に対して、屋根の設置などの対策が必要ではありませんか。 	

一般質問通告書

【第123定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 橋尾 哲夫

受領日	番号
令和 5年 8月 28日 午前 午後 11時 04分	3

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 多可町合併20周年記念誌(多可の里風土記)発行について	町長
<p>多可町は、平成17年11月に、中町、加美町、八千代町の3町が合併して誕生しました。2年後に、合併20周年を迎えます。</p> <p>中区は山田錦、加美区は杉原紙、八千代区は敬老の日3つの発祥地です。</p> <p>町内の62集落には、神社等継承されてきた特色や歴史があり、優れた人物も存在し我が町の誇りでもあります。</p> <p>20周年記念誌は10周年記念誌より充実したものにし、今年度から編集作業を開始すべきです。</p> <p>町長の答弁を求めます。</p>	
2. 観光資源の開発について	町長
<p>令和5年4月に「伊能忠敬の夢を繋いだ播磨の止宿八十宿」が発行されました。加古川市観光協会で購入しました。</p> <p>伊能忠敬は江戸時代、日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を完成させた人物です。</p> <p>文化11年1月6日から8日の3日間、多可町に第8次測量(丹波街道)に来ています。</p> <p>現在の止宿跡は中兵庫信用金庫中町支店隣に石碑があります。</p> <p>西脇市の明楽寺から多可町(下野間、仕出原、坂本、糶屋、森本、安坂、中村町、岸上、鍛冶屋、牧野)に入り小野尻峠へ出ています。</p> <p>伊能忠敬の足跡を歴史的に研究し、町の誇れる観光資源にすべきです。</p> <p>町長の答弁を求めます。</p>	

3. 歌人（細田直俊、橋本栄治）2名の足跡を町民に

町長

歌人と言えば、多可町加美区出身で、日本の代表的歌人山口茂吉です。

細田直俊は加美区熊野部の出身、橋本栄治は中区岸上の出身です。

歌人は山口茂吉のみかと思っていましたが、2名の優れた歌人がいることを知りました。

多くの町民に知ってもらい多可町が文学的な町であることを発信すべきです。

橋本栄治は「わが町に住む人々の夢を乗せ杉原川は今日も流れる」を詠んでいます。

細田直俊は「ちる花は数かぎりなひことごとく光をひきて谷にゆくかも」を詠んでいます。

歌人山口茂吉に続く2名を表に出し、新たに2名の誇れる人物を町民に知ってもらう事です。

町長の答弁を求めます。

一般質問通告書

【第 123 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇 教蔵

受 領 日	番号
令和 5 年 9 月 1 日	4
午前・午後 9 時 25 分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 少子化・人口減少対策は	町長
<p>本町は、人口減少により令和 3 年 4 月に加美区が過疎地域に指定され、また、令和 4 年 4 月に中区、八千代区を含めた全町が過疎地域に指定されました。今後さらに少子高齢、人口減少対策に力を入れていく必要があります。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症は、地域経済や私たちの生活様式に大きな影響をもたらしました。一方で地方への移住に関心の高まりやテレワークの広まりにより地方への人の流れが生まれています。アフターコロナ時代を見据え、人口が減少する中であっても「住みたい町、住み続けたい町」に向けたまちづくりを行っていく必要がありますと第 2 次多可町総合計画後期基本計画で述べられています。</p> <p>6 月 2 日厚生労働省が発表された最新の統計は、22 年に生まれた赤ちゃんは約 77 万人戦後最少です。コロナ禍の影響もあるとは言えあまりにも少ない数字です。</p> <p>当町においても今後いかに少子化対策を推進していくのか、非常に重要な課題となっています。これまで取り組まれてきた、少子化、人口対策は効果があったのか。今後の対策についてお伺いいたします。</p>	
2. 中学校部活動の地域連携・地域移行は	教育長
<p>「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が通知され、「令和 5 年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る」と示されています。中学校における部活動は、設置・運営は法律上の義務はなく、必ずしも教師が担う必要のない業務と位置づけられています。</p> <p>この通知では、教師の勤務を要しない日に、部活動の指導に携わる必要がない環境を作り、教師の負担軽減を図るとともに、部活動の指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、地域の活動として実施できる環境を整え、生徒にと</p>	

って望ましい部活動の実現を図るものとなっています。

地域移行に向けて、生徒や保護者の不安を取り除くことや、多可町の各団体との協力依頼状況など、今までの取り組み、その課題について伺います。

3.	

一般質問通告書

【第 123 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 廣畑 幸子

受 領 日	番号
令和 5 年 9 月 5 日 午前・ 午後 4 時 4 1 分	5

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 住民の安全そして安心の確保を	町長
<p>今年の夏は、7月8月にいわゆるゲリラ豪雨や雷雨が頻発し、学校などの公共施設が落雷で被害を受け、さらには夜に停電になり暑さの辛抱や暗い中での辛抱を余儀なくされた方も多く出ました。また8月15日の台風7号では、林道西ノ山線市原地内で土砂崩れなども起きました。</p> <p>比較的災害の少ない多可町ですが、それでもこのような被害が出ました。</p> <p>先月、お隣の西脇市で水が濁るという事象が発生しました。水は生活する上に欠かせないものです。完全に復旧するまで数日を要していましたが、その間の対応として、西脇市に応援の給水車が加東市・明石市・加古川市そして自衛隊からも来ていただき、水の供給がされました。</p> <p>住民は容器を持って行く方や、給水袋での水の配布などを受けられ、なんとかしのがれていました。しかし、住民全てが水をもらいに行けるのでは無かったので、そのようなご家庭には市職員などが配布をされていました。</p> <p>今回のケースは、地震や台風などの災害では無いので、近隣などの応援もいただきましたが、広域的な災害の時にはそこまで望めないこともあるのではと不安がよぎりました。</p> <p>このような近隣のケースや被災されている各地の状況を見るに付け、多可町でも給水車の購入を考える時期にきているのでは無いかと思えます。もちろん給水車は安いものではありません。1台1000万円から1400万円はするようですし、いざという時に不具合が出ないよう毎年のメンテナンスも必要で、30万円位はかかるようです。しかし、あまり被害の無い時だからこそ、もしもの時に備えて考える必要があるのでは無いでしょうか。</p> <p>今回、多可町の給水袋やタンクのストックの状況を聞きました。6リットルの給水袋約100枚、タンクは500リットル1個、1000リットルが2個ということでした。このストックの状況ですが、どのように考えていきますか。</p> <p>また今回のように停電が長引いた時など、住民の不安を和らげるためにも、防災無線やSNSなどを使い情報発信をすれば良かったのではと考えますが。</p>	

9月3日に多可町防災訓練が実施されました。今回は「多可町全域で未明から豪雨となり、各地で浸水・土砂災害が発生」の想定での訓練でした。町長も終了後放送されていましたが、その後の検証はどのような内容でしょうか。半月ほどしか経って無いとは言えとても大事なことです。いかがですか。

2.

3.

一般質問通告書

【第 123 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 内橋 志郎

受 領 日	番号
令和 5 年 9 月 6 日	6
午前・午後 8 時 33 分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 集落区長へ支援を	町長
<p>令和 5 年 4 月から地域共生社会づくり推進担当を生涯学習課から総務課に移されました。町長は、所管を総務課に持ってきた大きな理由として、6 月議会の同僚議員の地域共生社会づくりの一般質問の中で、「区長さんとの連携ということ」と答弁されています。私は、集落区長さんの協力が必須と受け止めています。そして、本年度は地域共生社会づくりについて、区長会、民生・児童委員、集落役員やその他団体との研修会、懇談会を実施されています。</p> <p>加美、八千代地域局を地域活動拠点として、仕組みづくりも進められています。ところで、その集落区長のおかれている現状はどうでしょうか。</p> <p>令和 2 年から長引いたコロナの影響で、集落行事等が中止、縮小をしました。それを元の状態へ戻すだけでも、相当のエネルギーがいります。継続していた行事は、住民も抵抗ありませんが、価値観が多様ななか、さらに難易度は増しています。集落区長さんが、地域共生社会へ向けた方向性は、理解されても、実情は、集落行事、集落イベントなど集落固有の文化伝承に、いま精一杯尽くされているのではないのでしょうか。</p> <p>地域住民が安心して暮らせる、活力ある地域を創っていくためには、集落区長さんの活躍が欠かせません。</p> <p>平成 30 年度から始まったコークゼミ・あったかは～とらいん（基礎講座）も令和 5 年度 6 期生 54 名で合計 372 名です。そこで、コークゼミ修了生の方のメンバーが、集落別に一定数揃うまで、集落区長さんへの支援が必要と思います。兵庫県は、持続可能な地域づくりに向け、これまで小規模集落に限って補助事業を実施してきましたが、令和 5 年度から多自然地域の全 3 千集落に対象を拡大し、市町に伴走型の支援を促します。</p> <p>集落区長への支援は、地域共生社会の実現に不可欠です。</p> <p>町長のご所見をお伺いします。</p>	

令和5年8月広報たかの表紙は、制服姿の男女生徒9名のさわやかな笑顔。その笑顔は、多可中学校制服の決定でした。性別に関係なく、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンは、自分に合ったスタイルが選択できると伝えました。つまり、選択ができる、自由が与えられたのです。興味をひきました。

私は、7月の人権学習でLGBT等性的少数者の人権について学んだところでした。性的少数者は、いじめやアウティング、アウティングとは本人のプライバシーを侵害し、精神的な苦痛を与える行為を言いますが、そのリスクにさらされ、人権侵害は、学校の中でどうなのかとよぎったのです。

一ヶ月後の8月30日新聞に「校則を見直してほしい」の見出し記事が目にとまりました。13歳の中学生が、本当に必要な校則なのかと思うところがあるからだ。と始めて、中ほどで、中には必要な校則もあると思う。とし、次のように結んであります。結び部分だけ切り取って紹介します。私は、校則を見直してほしいと考える。そして、なぜ「その校則があるのかをしっかりと説明してほしい」と。私は1人の中学生の声として受け止めました。

そこで、早速に中町中学校、加美中学校、八千代中学校の校則を確かめることにしました。校則は、生徒が遵守すべき規律です。三校の校則は、大まかには同様とも言えるのですが、それぞれ異なっています。校訓、生徒憲章を載せている学校もあります。細かなルールについて必要な場合、生徒会、生徒指導の係り等が中心となって検討する。と載っている学校もあります。

でも、初めに8月広報で興味をひいた服装は、三校ともにありました。ただし、服装は、男子夏服、冬服、女子と夏服、冬服とそれぞれ分かれています。固定されています。

また、頭髪は、男子中学生らしい髪形、女子ともに中学生らしい髪形であります。長い髪は目立たない色のゴムでくくる。とも決めています。

さて、近年、見直しを求める声があり、文部科学省は、令和4年12月に「生徒指導提要」を改訂し、校則を見直すよう各学校に促しました。校則は、学校教育において重要な役割を果たすものです。しかし、より合理的で、生徒の自主性を尊重することが求められています。

新聞に載った町外中学生の意見を如何に受けとめられますか。

また、三校異なった校則を多可中学校校則は、どうされるのですか。

教育長のご所見をお伺いいたします。

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇保文

受 領 日	番号
令和 5年 9月 7日	7
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 「読み聞かせ」は「心の脳」を育てる 3世代を結び認知症対策にもなる	教育長 町長
<p>人の脳がうまく働くようになるには大原則があります。漢字や英単語を覚えるときには何度も繰り返します。何度も何度も脳を使うことでうまく働くようになります。「心の脳」も例外ではありません。喜怒哀楽をしっかり体験しないと正しく機能するようにはなりません。「読み聞かせ」は「心の脳」を育てることになる。動物に比べて、人の赤ちゃんは過保護に育てられています。動物であれば、生まれてすぐに自然界の摂理に捕らわれ「楽しい・嬉しい」「怖い・嫌だ」の体験をすることになりますが、人の赤ちゃんはしっかり母親の愛の中で少しずつ体験していきます。</p> <p>読み聞かせは実体のない仮想の状態かもしれないが、成長過程の中で「楽しい・嬉しい」「怖い・嫌だ」を耳と目と身体全体で体感させて「心の脳」を育むのです。このことは昔の人も分かっていたのではないのでしょうか。だからこそ読み聞かせはある種の文化として人類に伝わっているのでしょうか。</p> <p>読み聞かせは「心の脳」を育み、やがて人としての土台を作るのです。たかが絵本、と思うかもしれませんが絵本と触れ合っただけの子供は、読解力が無く国語が苦手、語彙力や想像力、集中力の欠如、同学年の子に学力の差がついた等により、いじめ、うつ病や適応障害の二次障害を引き起こす可能性もある。</p> <p>今すぐやる事はたった2つ、「心の脳」に成功体験をたくさん積み重ねる事「自分にはできる」という体験をたくさん積み重ねる事から取り組むと集中力がUPします。</p> <p>「心の脳」を育てるために1日10分間「読み聞かせ」の時間割りを設ける必要があると思います教育長の所見を問う。</p> <p>また、高齢者による絵本の読み聞かせに認知症予防の効果が高いとの期待が集まる。継続しやすく、社会貢献もできるメリットもあると言われていています。「絵本の読み聞かせ」は、世代間の架け橋になると思います。社会的問題として今後「読み聞かせ」は認知症予防と子供達の「心の脳」を育むのに必要な要素であります。町長の所見を問う。</p>	
2. 未来の科学者 頭脳を競う 生きた教育レベルの向上	教育長

県教育委員会が主催し、化学好きの中学生が集う「数学・理科甲子園ジュニア 2023 年」が 8 月 18 日、神戸市長田区の神戸常盤アリーナで開かれた。第 11 回「科学の甲子園ジュニア全国大会」県予選として年々人気が高まり、過去最多の 73 チーム 218 人が参加しました。競技の結果、須磨学園中が優勝、明石市立大久保中が準優勝、5 位西脇市立西脇南中。今年度この大会に参加された中学校は中町中学校のみであった。昨年は、加美中学校も参加されていたが…。このような素晴らしい大会になぜ多可町中学 3 校が参加されないのか。教育長の所見を問う。

毎年 4 月に小学 6 年生、中学 3 年生「全国学力・学習状況調査」のテストがあり、その結果、今年度全国平均より上回る結果になっていますが、生徒質問紙には、小中学生共に「自分には良い所があると思いますか」。「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」。に関しては自分での評価が下がっています。

これは、「子供達は自分に自信がない、何のために勉強しているのか、応用力が湧いてこない、勉強の面白みが分かっていないのではないか」。生きた教育ができていないように分析します。得意分野や関心度の自覚がない。応用力を身につける教育が必要と考えます。「数学・理科甲子園ジュニア大会」に参加し生きた教育を学ぶきっかけになればいいと思います。

夏休みの課題に「多可町数学・理科甲子園ジュニア予選大会」を 3 校で始めてはどうですか。先生方が「予選大会」の問題を作る。数学・理科は無限に問題を解く方法がある。学習要綱だけでなくもっと簡単に論理的に答えを引き出す事ができる。生きた教育のために独自の問題等を作り指導し、出場者を選考する。このような取り組みが必要であると思いますが教育長の所見を問う。

3. 地域資源を活かした「回る経済」 バイオマス発電所構想 SDGs	町長
---------------------------------------	----

多可町は中山間地域であります。自然豊かな緑に囲まれた山々に宝物が今も眠っています。隣の岡山県に木質バイオマス発電所があり、「再生可能エネルギー自給率 100%の町を目指す」そんな町があります。

「真庭市」です。エネルギーの自給率は 70%以上です。

多可町と同じように山に囲まれた町です。植樹してから 60 年経ちます。伐採する時期が来ており、新たに植樹をしなければ 50 年先には建築用の木材がありません。循環型社会を考えると多可町の山の木をどうするか。緊急の課題です。多可町にバイオマス発電施設を造るべきだと進言します。真庭市で実証済みの発電施設を設置するのです。

経済効果としてバイオマス産業により付加価値が約 52 億円増加しています。多可町の林業も潤い地域も潤ってきます。正しくこれが循環型社会のお手本となるでしょう。

町長の所見を問う。

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳様
 多可町議会議員 清水 俊博

受 領 日	番号
令和 5年 9月 7日	8
午前・午後 9時54分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
<p>1、「ライドシェア」の導入を！</p> <p>交通弱者の増加、関連して増加する交通事故等深刻な状況にあります。今、「公共交通空白地域」への適切な対応が急ぎ、求められています。</p> <p>本町では「2019 地域公共交通網形成計画」等により適宜、対応策を実施しているところです。しかし急激な超少子高齢化、核家族化等々、社会の構造が急変しています。山間部においても同様です。</p> <p>住民の生活を守る手立てが必要です。多くの選択肢はありますが、それらを補完する意味でも「ライドシェア」を提案します。</p> <p>「地元住民が運転する自家用車」と「車で移動したい人」をつないで、「車で移動したい人」のニーズを安い価格で実現する正に「ささえ合い交通」ともいうべき方法です。以下伺います。</p> <p>1.交通弱者、高齢化率の現状は（今後の推移予測も併せて） 2.免許返納の数（直近3年以上の推移データとともに） 3 公共交通空白地域の把握は、解消への対策は</p>	<p>町 長</p>
<p>2、「神楽、歌舞伎」等地域の宝を後世に！</p> <p>長い歴史や風土に育まれた地域固有の伝統芸能が多可町にも受け継がれています。しかし時代の変遷とともに、そのあり様も大きく変化し、幾星霜大切に引き継いでこられた「宝」も消えようとしています。</p> <p>以下伺います。</p> <p>1. 「無形民俗文化財」等に指定された継承団体・個人の数の推移は如何に 2. 「後継者の育成」や用具の整備等必要な支援の具体は 3. 伝統芸能の保存継承へ効果的具体的取り組み策をどの様にされていますか</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

3. 「アグリ農家子弟」に支援を！

町 長

2020 の農林業センサスでは基幹的農業従事者数は約 25%の減少となっており、高齢化により農業をやめる人も多く「自分の代で農家は終わり」子どもに継いでほしいが、会社をやめてくれとはなかなか言えない」との声も聞こえます。他方、農業の「担い手」が経営する農地の割合では 2013 の 49%から 2022 では 60%と 10 ポイント以上増加しています。

5 年、10 年、将来の本町農業を考えた時、農業が更なる発展を遂げる為にはより多くの農業後継者を育成することが何よりも大切です。技術や経営ノウハウが途切れることなく次世代へ継承されること、新たな能力が外部から入ることなど、時代に適応した本町農業が構築されると考えます。

次の世代の担い手となる新規就農者を増やすことに一層力を入れるべきだと思います。特に現在、一生懸命に農業を続けている農家の跡継ぎ、つまり農家子弟に対する支援を充実させることは重要であり、費用対効果も非常に高いのではないかと考えます。そこで、農家子弟を含め、新規就農者の確保、育成、更には「本町農業の持続可能性について」どのように取り組まれるのか、町長の所見を以下伺います。

1. 新規就農者の数、農家数に占める割合等その状況は
2. 「持続可能な農業」への取り組み策は
3. スマート農業等新技術・新経営等の拡充拡大策は如何に

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 市位 裕文

受 領 日	番号
令和 5年 9月 8日	9
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 地域医療を守れ	町長

私は通勤しているときに、八千代診療所の横を通過しますが、明らかに車の数が激減しています。前回同僚議員が一般質問しましたが、医師不足です。この診療所は八千代区住民、特に北部住民にとっては地域医療を守る砦です。古くは長田先生、西脇先生、富田先生、迫先生等のおかげで、私たちの健康は守られてきました。しかし、最近診療所の駐車場の車が激減しています。前回の一般質問にも取り上げられましたが、月曜日、木曜日、土曜日（隔週）の代診が行われ、予約のみの診療であると聞き、医療崩壊と感じました。誰もがいつでも診療を受け、健康を守る必要があります。聞きますと現在は、火曜日の代診も始まったと聞きましたが、代診ではなく、主治医が見守るのが当たり前であると思います。これが地域医療を守る姿であると思います。代診はあくまでも代診です。

昨年からの代診の現状を一刻も早く打破して、主治医と呼ばれる先生を迎え、通常診療を復活すべきです。

今回、現在の状況と今後の方向性についての説明を求めます。

合わせて、杉原谷診療所、指定管理になった松井庄診療所の現状についても教えてください。併せて薬局も診療所が閉まれば、同様に閉まります。

患者数が少なくなると、併設する薬局の維持についても心配です。薬局は民間企業です。診療日数が減れば売上減につながり、撤退を考えられたら大変です。優しい対応も必要です。

エコープ近畿の八千代支店の撤退、今また移動販売を伴う小売店の撤退、その上地域医療の不安定が加われば、地域崩壊につながります。買い物弱者が叫ばれて、次は地域崩壊という言葉が躍ります。

これが将来の多可町の姿になりかねません。何としても八千代診療所を守り、また、松井庄診療所や杉原谷診療所についての将来を考えるべきです。町長のお考えをお聞かせください。

一般質問通告書

【第 123 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤原 清勝

受 領 日	番号
令和 5 年 9 月 8 日 午前・午後 8 時 3 0 分	10

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 税・保険料の納付の説明は分かりやすく	町長
<p>毎月の「広報たか」の表紙には、あなたとまちをつなぐ広報たか とあります。</p> <p>どの項目お知らせも、住民の皆さんにお伝えしなくてはならない大切な事柄ばかりです。ただ、その内容を全て読み込んで、一つ一つ理解しようとするには、なかなか大変で、結局一ヶ月近くかかるのではないのでしょうか。</p> <p>さてそこで、今年度になってから気がかりなところがあります。それは、いつも最後のページにあります、「今月の税・保険料の納付」のお知らせです。納付書払の期日と口座振替日が書いてあります。そして、納付書払期日のところには、「コンビニ・スマホアプリ可」とあります。また、※を頭にして、地方統一 QR コード印字の納付書で電子納付が可能です。とあります。この説明だけでも、なかなか理解できないのですが、実際の納付書には、QR コードと eL 番号も印字されています。そしてまた、納期限とともに指定期限も書かれています。この指定期限の説明が、広報たか にはありません。納付書をよく見てもらえばわかると思いますが、と言ってしまえばそれまでですが、それが、ほとんどの方は、なかなか理解できないくらい難解な説明文になっています。</p> <p>尚、納期限が過ぎると赤字で督促状と印字された納付書が送られてきます。そのうえ、封書の表書きに「至急開封ください」と大きく赤字で書かれた封筒で送られてきます。この対応は、あなたとまちをつなぐ広報たか のタイトルのように役場から住民の皆様への親切丁寧なイメージの対応に反するよう思われます。まるで悪徳金融の借金の取り立てのように感じるのは、私だけでしょいか？</p> <p>今年度から、国の制度が変わったのでこうなってますだけでは、周知されなと思います。もう一度、納期限、指定期限、QR コード、eL 番号について丁寧に分かりやすい告知が必要ではないかと考えます。</p>	

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 足立 吉継

受 領 日	番号
令和 5年 9月 8日	11
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 災害対策は万全か	町長
<p>先月の台風7号により、県内北部地域を中心にさまざまな被害が出ました。私は香美町香住区に災害ボランティアとして現場に入り、泥だしや水没した家屋からの家電製品などの災害ごみの搬出や、仮ゴミ置き場への移動を行ってきました。そこには家電や、木材、鉄屑、がれきなどが分別され大量に置かれていました。その地域では自動車専用道路の高架下に仮置き場が準備してあったようですが、量が多く置ききれず、過去にゴミ置き場であった場所に持って行くようになっていました。過去の丹波市市島町の水害の際には多可町職員の方も派遣されていましてのでそういった点も理解があると思います。</p> <p>そこで質問させていただきます。</p> <p>1点目、多可町地域防災計画の第3編、第3章、第12節 廃棄物対策では、「災害ゴミの仮置場を確保する」としか記載がありませんが、事前に仮置場を決めておくことはできないのでしょうか。災害時にすみやかに仮置場を確保することは困難が予想されますので、あらかじめ場所を決めておき、住民への周知が必要だと思いますが、どうお考えでしょうか。</p> <p>2点目、災害ごみの量について、想定される排出量はどうやって決められていますか。捌ききれなかった場合の次の対策も考えられていますか。</p> <p>3点目、災害想定場所と違った場合の候補先の話などを各区長の皆さんと話す機会は持たれていますか。</p> <p>以上三点、町長の見解をお聞かせください。</p>	

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 吉田 政義

受 領 日	番 号
令和 5年 9月 8日 午前・午後 8時48分	12

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. クーリングシェルターの導入は	町 長
<p>県内は今年の夏、全国の傾向と同様に記録的な高温になりました。観測史上最高を記録し、8月の月平均気温も最高となり、各地で歴史を塗り替える記録づくめの猛暑に見舞われました。地球温暖化の影響が懸念される中、令和3年8月に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第6次評価報告書では、地球温暖化の進行に伴い、今後「顕著な高温」の頻度・強度がますます高まっていくことが予想されております。環境省では、今後起こりうる顕著な高温も見据えた熱中症対策の一層の促進のため、法制化に向けて検討をしています。具体的には、現行より一段上の熱中症特別警戒アラートの創設、クーリングシェルターの指定・開放や熱中症対策を普及・推進していく地域団体の活用などを考えています。これらの対策を円滑に実施するために、地域の協力・連携が不可欠であります。令和3年度より実施している「地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業」を引き続き実施しています。猛暑に伴い、各地で熱中症が疑われる救急搬送が増えました。熱中症などの深刻な健康被害が予想される水準まで気温が上昇した際、一時的に避難し、涼める場所がクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）です。来春に全面施行される「改正気候変動適応法」は公共施設やショッピングセンターなどの冷房が効いた部屋を事前に指定するよう自治体に求めています。指定施設は、熱中症の「特別警戒情報」が発令された場合に避難場所として解放することが義務づけられます。一部の自治体では先行して設置が進められています。暑さを避けるため不特定の者が利用できる冷房装置を有する施設であるクーリングシェルターは市町村が指定し、熱中症警戒アラートと連動させて公共施設や民間施設も活用します。東京都墨田区では、誰でも利用することができ、訪れた人には、熱中症対策として経口補水液や塩あめ、それに冷却効果のある市販品のシートなどを無償で提供しているほか、薬剤師が熱中症を予防するためのポイントも伝えています。</p>	

環境省によると全国で125の自治体が進め、図書館などの公共施設のほか、コンビニエンスストアや薬局などの民間施設を避暑施設として開放しているということです。環境省は今後「クーリングシェルター」の具体的な要件を示すとともに、多くの自治体に参加を呼びかけたいとしています。

多可町では「地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業」や「クーリングシェルター」の導入をどのように考えていますか、伺います。

一般質問通告書

【第123回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 日原 茂樹

受 領 日	番号
令和 5年 9月 8日 午前・午後10時32分	13

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. コークゼミの取り組みを広げよ	町長
<p>少子高齢化が進展し、高齢者の一人暮らしや、人と人とのつながりが希薄となる現代において、地域共生社会づくりに向けての取り組みは、より一層重要なものとなっています。</p> <p>少子高齢化の進行に伴い、地域の担い手が減少し、地域の活力が低下するという問題が懸念されています。また、高齢者の一人暮らしの増加に伴い、孤立や孤独死のリスクが高まっています。さらに、人と人とのつながりが希薄になると、地域の課題を解決するための協力が難しくなるという問題も生じます。</p> <p>このような課題を解決するために、地域共生社会の実現に向けた取り組みが重要です。</p> <p>1点目は地域の担い手の確保です。地域のあらゆる住民が、自分らしく活躍し、地域の課題解決に貢献することが求められます。そのためには、高齢者や障害者など、これまで地域の担い手とされてこなかった人々の参画が重要です。誰もが活躍できる環境を整備し、地域の担い手を増やすための取り組みが求められます。</p> <p>2点目は孤立や孤独の防止です。高齢者の一人暮らしの増加に伴い、孤立や孤独死のリスクが高まっています。地域住民が互いに支え合うことで、孤立や孤独を防止することが求められます。地域のコミュニティを活性化し、地域住民同士の交流を促進する取り組みが重要です。</p> <p>3点目は地域課題の解決です。地域には、様々な課題が存在しています。地域住民が協力して、これらの課題を解決することが求められます。地域の課題を共有し、解決に向けて取り組むための仕組みを整備することが重要です。</p> <p>多可町では地域共生社会づくり実現のため、地域課題の解決力強化、公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換を図り、地域住民、関係機関・団体等で構成する「多可町地域共生推進協議会」の主体的な活動を行政が支援しながら、事業を展開しています。</p> <p>「コークゼミ・あったかは～とらいん」では地域共生社会づくりの基礎を学</p>	

ぶ講座の開催や、校区ごとに区長会さんへの地域共生研修会も開催されています。

地域共生社会づくり活動には、区長さんの理解、協力が不可欠であることから、令和5年度より地域共生社会づくり推進担当を総務課へ異動させ、地域共生社会づくり活動、集落自治の支援、村づくり事業の推進体制を整備されています。

令和5年度の吉田町長の施政方針の中で「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念の下、住民皆さんがそれぞれの役割をもち、支え合いながら自分らしく活躍する地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が求められているとされています。

お互いを思いやる温かい心を次世代につなぎ、地域を支える人を育て、住民の互助活動の活性化を図る「コークゼミ・あったかは～とらいん」はその取り組みの柱となるものと述べられています。

コークゼミの活動を通じて地域共生社会の実現に向けた取り組みは、どれくらい進んだのですか。少子高齢化や地域の活力低下などの課題を解決するためには、今後もコークゼミの活動を広げ、継続的に取り組んでいく必要があります。

町長の所見を伺います。

2. インクルーシブ教育を推進せよ

教育長

インクルーシブ教育とは、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学び合う教育のことです。インクルーシブ教育の推進は、すべての子どもがその能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加することができる社会の実現につながります。

インクルーシブ教育の推進においては、子どもたちの多様性を理解し、受け入れることが大切です。子どもたちは、障害の有無だけでなく、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教など、さまざまな違いを持っています。これらの違いを理解し、受け入れることで、子どもたちが相互に理解し合いながら、共に学び合うことが可能になります。

インクルーシブ教育の推進には、学校や家庭、地域など、さまざまな主体の連携が必要です。学校では、教員や支援員が、子どもたちの個別の教育的ニ

ズに応じた指導を行うとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び合うための環境を整備することが大切です。家庭では、子どもの教育について学校と連携し、子どもの成長を支える役割を担うことが大切です。地域では、学校や家庭の活動を支援するとともに、障害のある子どもが地域で活躍できる機会を創出することが大切です。

日本では、2013年に「障害者の権利に関する条約」を批准し、インクルーシブ教育の推進を進めています。文部科学省では、「インクルーシブ教育システム構築事業」を実施し、学校や家庭、地域社会の連携によるインクルーシブ教育の推進を支援しています。

インクルーシブ教育の推進においては、まだ課題も残されています。例えば、障害のある子どもに対する偏見や差別が根強く残っていることや、学校や家庭、地域の連携が十分に図られていないなどの課題が挙げられます。これらの課題を克服し、インクルーシブ教育をさらに推進していくことが、すべての子どもがその能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加することができる社会の実現につながります。

多可町ではインクルーシブ教育にどのように取り組まれているのですか。子どもたちの多様性を理解し、受け入れる体制づくりはできているのですか。学校や家庭、地域の連携を促進するような活動の取り組みはなされているのですか。

教育長の所見を伺います。